



予選レポート

2019/6/22 Rd-3 スポーツランド SUGO

天候：曇り一時雨 気温：22℃ 出走台数：20台

開幕戦鈴鹿、第2戦オートポリスと、サバイバルレースを戦い、チーム及びドライバーランキングランキング首位で迎える第3戦スポーツランド SUGO。

DOCOMO TEAM DANDELION RACING にとっても、山本選手にとっても、得意とするここ菅生で勝ち星を挙げ選手権を有利に進めたいところだ。

コース幅が狭く、1周の距離も短いスポーツランド SUGO は、コース上でのトラフィックなどにより各車が満足にタイムアタックできない可能性があるとして、第1予選のみ全20台を10台ずつ2組に分け予選を行うこととなった。

不安定な天候の下開始されたノックアウト第1予選、福住選手はA組でタイムアタック。しっかりとタイヤをウォームアップし危なげないアタックで2番手タイムを記録。B組山本選手の予選が開始される頃に、パラパラと雨を感じるようになってきたが、山本選手は2番手に0.4秒以上の大差をつけてトップ通過する。

続く第2予選は、全車ソフトタイヤでアタック。山本選手はベストタイムを更新し、唯一の1分3秒台を記録してトップ通過。福住選手も、コースレコード越えの3番手タイムで第3予選へ。

第3予選開始時には、小雨も大粒に変わり路面を濡らし始めたが、全車ドライタイヤでコースイン。まず山本選手が1番手タイムを記録し、各車本格的なアタックに入ろうとしていた時、SPコーナーで2台がコースアウト。赤旗中断となった。セッションは約1分半を残していたが、この赤旗をもってセッション終了となり、山本選手はポールポジション。福住選手はアタックタイム計測できず、不完全燃焼の6位で予選を終えた。

1：山本尚貴 選手 予選1位（第1予選B組1位、第2予選1位、第3予1位）HONDA 勢1位
フリー走行から感触良く、タイヤテストもしっかりとでき、チームのレベルの高さを改めて感じる予選でした。ポールポジション獲得は素直に嬉しいのですが、赤旗で十分なアタックが出来ないまま予選が終了してしまったことはとても残念ですし、ファンの皆様にも、本当のスーパーフォーミュラの真剣勝負をお見せできなかったことは、前戦オートポリスに続いて残念に思っています。明日の決勝、先頭でゴールすることに集中します。

5：福住仁嶺 選手 予選6位（第1予選A組2位 第2予選3位、第3予選6位）HONDA 勢5位
第1～3予選通して感触は非常に調子よく、Q3では路面コンディションが回復すると判断して後半にアタックすべくタイヤのウォームアップをしていました。好タイムを記録する自信はあったのですが、途中終了となり不完全燃焼の結果となったことは残念です。明日の決勝は、チーム戦略とスタートダッシュで、山本選手とダブル表彰台を目指します。